第 19 講　関係詞②

ポイント

【1】　前置詞 + 関係代名詞
【2】　関係代名詞の what
【3】　関係詞の応用

ポイント【1】前置詞 + 関係代名詞

・まずは，前置詞の後ろは目的語しか置けず，目的語は名詞しかなれないので，名詞の性質を持つ関係代名詞しか後ろに置けないことに注意。前置詞 + 関係副詞の形は，基本認められない。

●なぜ前置詞 + 関係代名詞にするのか？

・This is the house. と I was born in the house. の二つの文を関係代名詞 which を使って，一つの文にする。
⇒ This is the house which I was born in. の文が完成する。
これ自体間違いの文ではないが，やはり文末の in という前置詞は，言葉の前に置かれてはじめて機能するもの。よって，house の代名詞である which の前に置いて，in which にする。完成した文が，
⇒ This is the house in which I was born.　　これが私が生まれた家です。

●前置詞 + 関係代名詞の後ろの文の形

・完全文（名詞の欠けのない文）か不完全文（名詞が欠けている文）という観点からは，前置詞 + 関係代名詞の後ろの文は，完全文となる。上の文で，This is the house which I was born in. でこそ，in が前置詞で，後ろの目的語が欠けた不完全文となるが，その違和感を解消するために，in を which の前に持ってきたのだから，in which の後ろの I was born. は，受動態で終わる名詞の欠けのない完全文となる。

●前置詞 + 関係代名詞の解法

・関係詞を入れる空所の後ろが完全文と分かったら，関係副詞・前置詞 + 関係代名詞の二つの可能性が生まれる。どの前置詞を使うかは，先行詞を後ろの文に入れて，判断する。

（例文）This is the house（　　）I used to live.

⇒　先行詞 the house を後ろの文の I used to live に入れると，I used to live in the house. になる。the house を代名詞の役割を果たす which に代えて，in which。そして，接続詞の位置に持ってくると，This is the house in which I used to live. になるので，in which を使うとわかる。

■問題演習

＊次の英文の空所に適当な表現を下の①～④の選択肢から一つ選びなさい。

1. I can't find the bag（　　）I put my purse.
① whom　② to whom　③ in which　④ which

2. I can remember the day（　　）I arrived in Tokyo.
① where　② which　③ on which　④ at where

3. The chair（　　）she was sitting was made of pipe.
① on that　② that　③ on which　④ which

4. He has a clever daughter（　　）he is proud.
① of that　② of whom　③ of which　④ in which

●復習用シート

1	前置詞 + 関係代名詞の解法	先行詞を後ろの文に入れて，前置詞を特定
2	前置詞 + 関係代名詞の後ろの文	完全文

復習テスト　第 19 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. There are times (　　　) people need to be brave.
   ① why　② at which　③ what　④ of whom

2. I sometimes remember my foolish acts (　　　) I'm ashamed.
   ① which　② in which　③ where　④ of which

3. She has some old friends (　　　) she hasn't kept in touch.
   ① with whom　② who　③ of that　④ when

4. At that time, he had a pen friend (　　　) he wrote e-mails.
   ① where　② with which　③ to whom　④ when

5. I had a strange dream (　　　) I was jumping with rabbits on the moon.
   ① when　② on whom　③ in which　④ how

NOTE

第 19 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ③　私は財布を入れたバッグを見つけられない。
2. ③　東京に着いた日を覚えている。
3. ③　彼女が座っていた椅子はパイプでできていた。
4. ②　彼には誇りに思う利口な娘がいる。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ④　あなたは彼にやってもらいたいことを彼に言うべきだ。
2. ④　彼女は稼いだものを娘に費やしている。
3. ②　現代の東京は，30 年前と違う。
4. ③　これはいわゆる穴居人の絵画だ。
5. ④　その日は風が強かった，さらに悪いことに雨が降っていた。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ④　あなたは自分のためになるような友人を選ぶべきだ。
2. ③　彼女は英語を話せないと言ったが，それは真実ではなかった。
3. ③　私は彼が持っているのと同じ本を買いたい。
4. ②　昨年の冬，ロンドンに行ったが，そこは考えていたより寒くなかった。
5. ④　この会社で働いた結果として，将来の妻と会って，彼女もそこで働いていた。

復習テスト（解答）　　第 19 講【1】

1. ② There are times (**at which**) people need to be brave.
   人には勇敢になる必要があるときがある。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると people need to be brave at times となる。
この times を関係代名詞 which に置き換え，at which を接続詞の位置に置けばよい。

2. ④ I sometimes remember my foolish acts (**of which**) I'm ashamed.
   私は，恥じている自分の愚行を思い出すことがある。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると I'm ashamed of my foolish acts となる。
この my foolish acts を関係代名詞 which に置き換え，of which を接続詞の位置に置けばよい。

3. ① She has some old friends (**with whom**) she hasn't kept in touch.
   彼女には，連絡を取り合っていない旧友が数人いる。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると she hasn't kept in touch with some old friends となる。
この some old friends を関係代名詞 whom に置き換え, with whom を接続詞の位置に置けばよい。

4. ③ At that time, he had a pen friend (**to whom**) he wrote e-mails.
   当時，彼には E メールを書いて送る文通相手が 1 人いた。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。
先行詞を後ろの文に入れると he wrote e-mails to a pen friend となる。
この a pen friend を関係代名詞 whom に置き換え，to whom を接続詞の位置に置けばよい。

5. ③ I had a strange dream (**in which**) I was jumping with rabbits on the moon.
   私は，月でウサギと飛び跳ねている奇妙な夢を見た。

解説：
空所の後ろにあるのは，名詞の欠けがない完全文。先行詞を後ろの文に入れると
I was jumping with rabbits on the moon in a strange dream となる。
この a strange dream を関係代名詞 which に置き換えて in which を接続詞の位置に置けばよい。